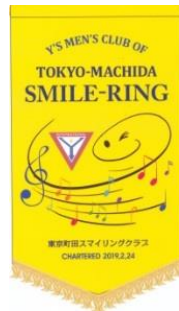




THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y's Men's CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

「当クラブは町田市社会福祉協議会が奨励する“わくわくサロン”の公認団体です」



2021年
4月号(第24号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 20

今月の聖句

「あなたがたは神に愛されている子供
ですから、神に倣う者となりなさい。」
エフェソの信徒への手紙 5章 1節

【4月の巻頭言】 為我井輝忠

暖かな風の到来と共に4月の声を聞くと、あまりにも時間の流れが速いの気が付く。もう1年の4分の1が過ぎ去った。

4月は学校の新学期や企業の新入社など



で多くの人の新たな移動の季節である。かつては私自身も郷里から上京し、大学入学とか就職だとか様々な変化の時を迎えて、それなりに大変な時期を通して来たことを思い出す。今、多くの若者に

とってコロナ禍のなかで思うような人生を歩めず、悩みを抱えている状況を見聞きするにつけ、昔の自分自身のことを思い出してしまつた。若いことはその先に大きな未来があり、それに向かって突き進んでいく希望がある。今そんな悩み苦しんでいる方々にはもう一歩先に踏み出す勇気を持ってほしい。

さて、4月の例会では中国のキリスト教について話してほしいとの依頼があった。これまでに中国には2年間の滞在を含めて10数回の旅行歴がある。そのいずれの時も各地の教会を訪ね、中国でのキリスト教の実情と人々の姿を見て来た。今回、北京、上海、大連、福州、太原等で撮り貯めてきたたくさんの写真と共にあまり知られていない、中国のキリスト教の姿をレポートしたいと思う。

《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク) 「命の川を信じよう」
アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう!”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう!」
東新部部长 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め YMCA を支えよう」

クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長!」
[クラブ役員]直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫
担当主事 諏訪治邦

2021年4月例会プログラム

日時: 2021年4月21日(水) 19:00~20:30

会場: Zoomにて開催します。

(下記 UNL をクリックしてご入場下さい)

[https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=](https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09)

[=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09](https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09)

- | | |
|----------------------|----------|
| 司会 | 尾張日出夫 |
| 1. 開会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |
| 2. ゲストとビジター紹介 | |
| 3. 諸報告など | 太田 勝人 |
| 4. 卓話「中国のキリスト教会を訪ねて」 | 為我井輝忠 |
| 5. 閉会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |

※ ZOOMにつき一部省略させていただきます。

※ 事前にクラブ事務局へお申込み下さい。

(申込み先については次頁をご覧ください。)

【今月の強調テーマ】

4月の強調テーマ: LT

* LTとは Leadership Training の略です。

4月の在籍者		例会出席	出席率	BFポイント		ファンド	
メン	12	合同例会18名、内当クラブ6名		現金	0	スマイル	0
休会中	3	ビジター	19	切手(円)	0	オークション	0
メーカーキャップ		ゲスト	1				
合計	9	出席率(%)	67	累計	0	累計	0

会員のリーダーシップ開発、向上、を目的に行う研修。東日本区では、区主催の部役員、クラブ役員（会長、書記、会計）の研修を企画・実施しています。また部（例えば東新部）主催の研修会等の支援を行っています。

具体的には、2020年2月1日に東日本区主催の”シンポジウム“をYMCA東陽町にある社会・体育・専門学校にて開催し、わがクラブから為我井会長と太田が出席してきました。「Change2022！」の大目標達成のために先進的な取り組みをしている甲府クラブ、千葉クラブなどの例を披露して啓発と交流を行いました。

また同じく2月15日には東新部主催の“フレッシュワイズセミナー”をYMCA山手センターにて開催し、わがクラブから為我井会長、尾張書記、松井優希、城田教寛君が出席されました。特にフレッシュなわがクラブの若い皆さんが1年経過して思いを語り、新しく学んだことを伝えて、主催者の皆さんは大変喜んでおられました。

*RBM：マラリア病に罹患する人が今なおアフリカを中心に2億数千万人おり、年間40万人以上が亡くなっています（特に5歳未満が多い）。ワイズは国連のプロジェクトに参加して、一人当たり800円寄付して「蚊帳」を届けております。（太田 記）

【3月の合同例会のご報告など】

3月の例会は3月8日（月）に3クラブ（多摩みなみ、コスモス、スマイリング）合同の例会に大勢のビジターの皆様のご参加を頂いて賑やかな例会になりました。（19時～20時45分）※司会：深尾香子様

1. 参加者は、下記の38名と参加者でした。（内訳・敬称略）

*ゲスト：清水弘一様（熱海クラブ）

*主催クラブ：18名

町田コスモス：権藤徳彦、松香光夫、谷治英俊
多摩みなみ：安藤慎次、石田孝次、伊藤幾夫、

小野実、小早川浩彦、田中博之、深尾香子、
藤田智、綿引康司

町田スマイリング：太田勝人、尾張日出夫、城田
教寛、諏訪治邦、竹尾信吉、為我井輝忠

*ビジター：19名

宇都宮・大久保知宏

埼玉・衣笠輝夫

東京・江口耕一郎、加藤義孝、長澤弘、佐藤茂美

東京武蔵野多摩・板村哲也、宮内友弥、渡辺大輔

東京八王子・久保田貞視、小口多津子、花輪宗命、

山本英次

東京たんぼぼ・小原史奈子

横浜つづき・鈴木茂

宝塚・石田由美子、多胡葉子、長尾亘

東新部・加藤裕一様



2. 卓話の要旨下記の通りです。

*清水弘一様（石巻広域クラブ）

「東日本大震災から10年、そしてこれから」と題してお話を頂きました。（要旨）

2011年3月11日に東北地方太平洋沖で発生した地震による災害は「東日本大震災」と呼ばれる大災害でした。本震の地震動とそれに伴う津波、そして、その後の余震によって東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明者数は約1万8千人で、災害関連死を含めると約2万2千人となり、第二次世界大戦後日本で発生した最悪の自然災害と言われています。また、福島第一原子力発電所でも深刻な事故が発生しました。

直接の被害や関連した被害で22,192名が亡くなり、或いは行方不明になっています。遺族の方々には震災から10年を経ても今なお心落ち着かない方々が半数近くおられる状態です。行方不明の方々を抱えた人たちの6割はまだまだ精神的な苦しみから抜け出せず落ち着かない状況にあります。

被災地の状況を抜粋して写真で見てください。

生き残った方の大半の方々が罪悪感をもっています。一般的には20%、身近な方を無くされた方の40%は申し訳ないと言う感情を持っています。深刻なことは今なお人口が戻っていないことです。

石巻約14%減、気仙沼約17%減、南三陸町約40%、女川町約40%、東松島8%、の人口が戻っていません。

特に若い人が戻ってきません。人口が増えたのは仙台市だけです。あせん。田舎に行けば人口の20%に減少しています。朗報としては仙台から沿岸部を宮古に至る約360kmの三陸道が開通したことです。今まで5時間半を要しましたが、3時間半に短縮されて経済の活性化に期待しています。石巻広域クラブは2016年に「チャーターナイトを迎えて今年で5周年を迎えます。石巻は震災から10年経て、魚が捕れない等で経済は活性化していませんが、復興住宅は撤去しました。ワイズとしては魅力ある地場産業の活性化を諮っています。石巻に魅力を感じてやってくる若い人達が多くなりました。YMCAやワイズの活動を通じて東北を盛り上げて行きたいと思います。ワイズとして、これ

からもこの様な支援活動の経験を通じて、災害に対応する能力を培って行きたい。

3.YMCAからの報告

スマイリングクラブ諏訪様から石巻との絆についてお話を頂いた。2020年度はコロナの影響を受けたが、報奨金などのサポートを受けたので何とか凌ぐことができました。10年の節目は終りでは無く、これからのスタートだと思います。YMCAでは3.11の記念の例会を行った。そこで、10年前の体験談を共有させて頂いた。

《写真家・奈良原一高のことなど》

尾張日出夫

私の趣味のひとつに写真があります。芸術を目指している訳では無く、自分の好きな世界を美しく、或いは個性的に描くことだけを目指しています。

『写真によるジャーナリズムの誕生』

プロの写真家は映像表現を通じて自己を表現し、あるいは被写体や事件を社会に遍く紹介する為に表現方法に工夫を凝らします。このような写真家の存在は写真機が発明されて間もなく誕生しています。

ちょうど写真機が生まれた頃にヨーロッパはクリミア戦争(1853年～56年)の最中であり、世界で初めて戦場の様子が撮影されました。それから程なくアメリカの南北戦争(1861年～65年)の様子が広範に記録されました。この頃の写真機は露出に時間が掛かる戦闘のシーンが撮れず、集合した兵士や戦闘の前後の戦場の静止した情景でしたが、それでも写真が持つリアリティーは圧倒的な説得力を持ちました。

これが写真によるジャーナリズムの誕生です。カメラが誕生する前の新聞報道では、政治や事件の記事を補完し強調する為に似顔絵等を載せていました。それが写真によって一変し、事件そのものを写真で表現できるようになったのです。

『写真芸術とドキュメンタリー』



奈良原一高・自画像

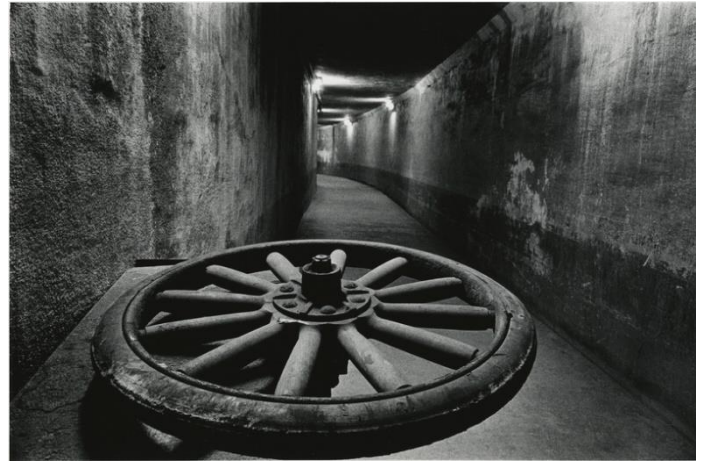
南北戦争は日本の幕末頃なりますが、それから明治の文明開化を迎える頃、日本で最初の職業写真家・下岡蓮杖が下田で写真館を開業しました。

(余談です。私の在職中の先輩の母方の先祖が下岡蓮杖で、母親の実家は今も写真屋さんです。)

そして日本では日清戦争や日露戦争の折に写真が大活躍しました。

しかし、芸術としての写真やドキュメンタリー写真は木村伊兵衛や土門拳などの昭和の時代を待たねばなりませんでした。

戦後活躍した写真家では鳥取の砂丘と人物とのコラボを撮影して知られた植村正治がいますし、長崎の原爆遺構や被爆者を撮影した東松照明がいます。



軍艦島(人間の土地)

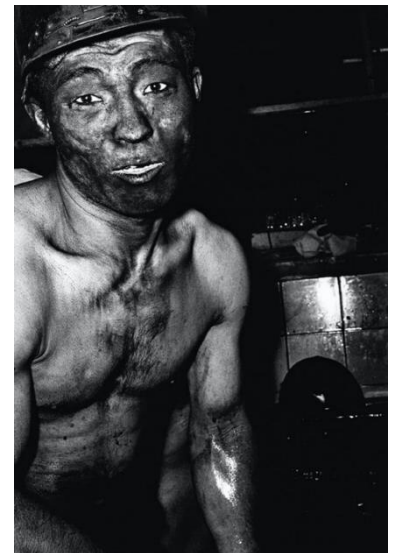
先日、NHK・Eテレの日曜美術館で「写真家・奈良原一高～魂の故郷を探し求めて～」を見てひき込まれました。

この番組は昨年の1月に戦後の写真表現を切りひらいた写真家・奈良原一(ならはらいつ)高(こう)が亡くなったので、2019年12月に放送された『魂の旅路』として奈良原一高を描いた番組が再放送されました。

そこで紹介された作品の数々は究極のドキュメンタリー写真です。奈良原一高は1931年生まれですから。私よりもひと周り近く上の世代です。

福岡県に生まれ、判事だった父の転勤で全国を転々としました。父の影響で中央大学の法学部に入り1954年に卒業しましたが、何故か早稲田大学の芸術学部

(美術史)の修士課程に入学して前衛美術に傾倒します。前衛美術に入り込んだ経歴などは岡本太郎と似ています。在学中の1955年に「エーゲ海に捧ぐ」で有名な池田満寿夫が結成した前衛芸術家グループに参加します。そこで鹿児島島の桜島、長崎県の軍艦島で生活する人々を実見して強く衝撃を受け、両島を詳細に取材



炭鉱労働者(人間の土地)

・撮影して 1956 年に「人間の土地」と題した写真展を開催して非常に大きな反響を呼びました。この作品集は炭鉱の労働者や坑道や働く炭鉱夫を見る者を惹きつける独特の視線で描写して迫ります。以来、写真家としての道を歩みます。1958 年には北海道のトラピスト男子修道院を取材した「沈黙の園」と和歌山の婦人刑務所を舞台とした「壁の中」と言う、外界と隔絶した二つの世界を対比した『王国』と題した個展を開催して新人賞を催して新人賞を受賞しました。

その後、前記した東松照明や後年三島由紀夫のヌード「薔薇刑」を撮ったことで知られる細江英公等と共に 1959 年に「VIVO」と言う結成し、国内外で評価される作品を残しました。

1996 年に紫綬褒章を受章、2006 年に旭日小綬章受偉大な写真家でしたが、深く知ることなく長い間見過ごしてきた自分に“ボーっと生きているんじゃないよ！”と悔恨した次第です。

YMCA NEWS

4 月に入りまだまだコロナの感染が続いています。皆さんもこの 1 年間で生活の変化をつぶさに感じ、行動の変化もあったのではないのでしょうか。人間は人と会って、群れてナンボ！という素晴らしい特質を持っています。

この特質を生かすことができないまま、フラストレーションを感じた 1 年間だったと思います。

次の 1 年間は神様から愛されている子供のごとく、与えられて備えられたものと考えて少しでも前に進みたいものです。東京 YMCA でも、新年度が始まりました。日本語学校や野外事業など少しづつですが再開していますが、従来のようには事業は行えていません。

昨年度は、東京 YMCA でも大きな赤字を生みました。数年で回復できるとは思いますが、厳しい状態に変わりはありません。今年度より東京 YMCA は、運営構造の変革を始めました。簡単に言えば、マトリックス組織で運営を効率的に行おうとするものです。

取り急ぎ野外の組織を改編してみました。キャンプの開催方法など今後変わってくるものと思います。

ワイズの担当は、今年も変わりませんのでよろしくお願いします。10 年目の 3 月 11 日を迎えましたが、10 年が経った今でも、先日あったように余震が続いています。皆さんもあの時の事を思い出した方もおられると思います。

自然は私たちに対し多くの恵みを与えてくれますが、逆に災いをもたらします。優しさもあり、むごさもあり本当に厳しいと感じます。

YMCA では記念礼拝を 3 月 6 日に開催します。WEB での開催なのでどなたでも参加いただけます。残念ながらこの例会の際には終わっています、残念です。他に石巻広域ワイズの皆さんも関わっている「がんばろう石巻の看板」の場所には、今年、記念公園がオープンしました。あの、思いは二度としたくないと言う思いから看板の場所では月命日にライトアップを行っています。

「がんばろう石巻の会」で検索してみてください。今は無き東新部の「信越妙高ワイズ」の定例活動でも、長年にわたり草刈りや、花の苗の寄贈。植え付けなど 定期的に関わってきた場所です。

まだまだ、震災の復興は終わっていません。福島も収束していません。

私たちは「隣人を自分のように愛しなさい」と言う言葉を今後も実践し続けたいものです。

(諏訪治邦 記)

これからの予定

- ① 2021 年 4 月 21 日(水) 例会 (Zoom 例会) 19:00~21:00
- ② 2021 年 5 月 19 日(水) 例会 (Zoom 例会) 19:00~21:00
- ③ 2021 年 6 月 12 日~13 日 東日本区大会 (Zoom の予定)

○例会日 第 3 水曜日 19:00~21:00 会場：まちだ中央公民館 6 階 町田市原町田 6-8

○第 2 例会 第 1 土曜日 13:30~15:00 会場：まちだ中央公民館 6 階 町田市原町田 6-8

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人氣付

会費振込口座：城南信用金庫、玉川学園支店（支店番号：075）

普通預金 口座番号：155093 口座名義：トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ